



亀鶴八幡神社例大祭の神祇（油木）10月8日撮影



柏床よしおの

# よっしー通信

2023年10月 12号

発行 柏床由夫後援会

石高高原町油木乙23番地2 Tel (0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email [kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp](mailto:kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp)

## 【9月定例会】

9月定例会は、9月5日から26日まで開会され、2022年度（令和4年度）決算の認定。総額4億3534万円の補正予算や、条例改正など32議案が原案どおり可決。一般質問は7人の議員が行いました。

2022年度（令和4年度）

一般会計決算 129億6849万円（歳入）

一般会計地方債残高 135億円

基金総額（貯金） 118億円

2022年度（令和4年度）、一般会計の当初予算額は総額、118億3000万円です。スタートし、歳入決算額は、129億6849万円の決算額となりました。一般会計歳入歳出は昨年に比べ、▲3億4736万円の減となりました。主な要因は、町債15億3300万円、国庫支出金2億6025万円などの減によるものです。歳入歳出のうち、町税等の自主財源は29.5%で昨年よりも9ポイントの増となっています。

また、歳入のうち、地方交付税は41.1%、国・県支出金9.9%など、依存財源は70.5%を占めています。

自主財源の確保が依然として課題となっています。

一般会計の基金の期末残高は111億9460万円、昨年より3億7767万円の増額となっています。

普通会計の町債（借金）残高は合併時、220億円ありましたが、年度末残高は135億円となり、町民一人当たり165万円の借金となっています。

昨年度の特徴的なことは、昨年5月1日に町立病院が

新築移転、開院しました。昨年度の新型コロナウイルス感染症関連対策事業費は、ワクチン接種を含め総額5億7208万円を投じて対策を行っています。

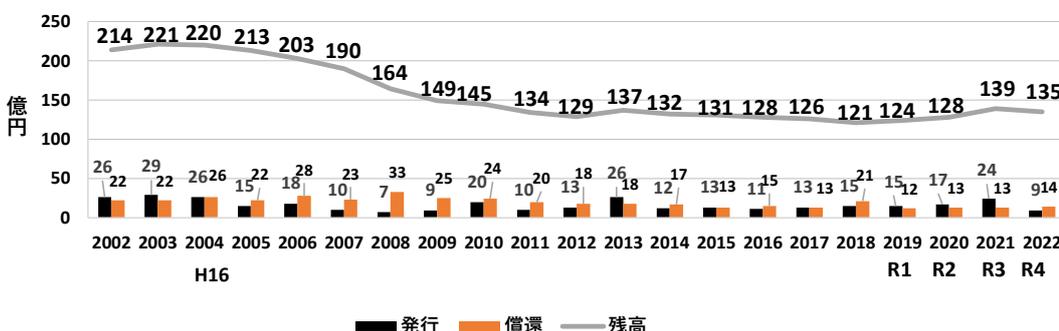
## 9月補正予算

（一般会計）  
4億1788万円補正

9月補正額の主なものは、子育て世帯生活支援特別給付金事業として、140万円、油木保育所と、とよまつ保育所の施設修繕として162万円、神石と来見堆肥センターの施設修繕費に318万円、スコラ高原の施設への落雷による設備修繕と被雷対策に、911万円、帝釈峡国定公園の危険木、支障木伐採に200万円、農道橋点検等の業務委託費135万円、農道補修工事に800万円、福柵川大橋の耐震改修工事負担金として、700万円、町道の維持補修費に4200万円、町が管理する普通河川

の堆積土砂除去等に、1000万円、災害復旧費に、2億7328万円などを補正しました。

## 一般会計地方債の状況





## 柏床議員の一般質問

### 旧油木百彩館について

**問** 旧油木百彩館の改修計画と進捗状況は。

**答** 年内に設計を完了予定。

柏床Ⅱ旧油木百彩館の改修計画の進捗状況と、今後の計画は。

町長Ⅱ現在の進捗状況は、施設改修設計事業者が決定し、「旧油木百彩館民営化再生協議会」からの提案内容をもとに基本設計に着手している。

新たな施設は、複数の事業者によるものづくりの拠点として活用することを計画しているため、自由度の高い利用ができるよう既存

施設の店舗部分と食堂部分を区分けしていた壁を撤去し一体的な活用が可能な形に計画している。

また、事業用として活用できていなかった2階部分についても事業者が入れるように改修する計画になっている。

施設の外に関しては、現在、油木協働支援センターが主催で開催されている出店者による朝市が引き続きできるよう考慮しながら「旧油木百彩館民営化再生協議会」の意見を伺い、設計作業を進めている。

次に、今後の計画について、現在契約中の設計業務は、12月末には業務完了する予定だ。

その後、工事費を3月補正もしくは令和6年度当初予算に計上し、令和6年度中の改修工事の完成を計画している。

柏床Ⅱ旧油木百彩館の新しい運営形態は。

副町長Ⅱ運営形態は、指定管理者制度で運営する。

旧油木百彩館前で、8月11日に開催した軽トラ朝市の様子



柏床Ⅱ何年間の指定管理期間を予定しているのか。  
産業課課長補佐Ⅱ3年間を予定している。

柏床Ⅱ事業者は何処が募集するのか。

副町長Ⅱ旧油木百彩館民営化再生協議会で議論をいただいている。改修計画も提案をいただいた。協議会と

事業者の連携で行っている。運営もこれまで積み上げてきた協議会意向も含めて地元の実業者の方でお願いしたい。

柏床Ⅱ指定管理者で運営するのであれば、町が指定管理者を選定してから事業者を募集するのが普通だが、指定管理者がまだ決定していない。旧百彩館民営化再生協議会へ丸投げの状況ではないか。町が責任を持って進めるべきでは。

副町長Ⅱ町が指定管理者を決定するが、今までの協議会の議論を尊重して指定管理者を決定する。

柏床Ⅱ指定管理者で運営する予定だが、出店者から月々の家賃が必要と聞くが、町は光熱水費など管理費を支払う予定なのか。

副町長Ⅱ町が施設の管理を委託するので、管理経費を計上したい。3年間の指定管理期間の中で、安定的に運営が出来るように、様々な支援をして行きたいと考えている。

柏床Ⅱ家賃は町に入るのか。総務課長Ⅱ指定管理者は、町が決めた利用料収入を指定管理者の収入として扱うことは可能である。

柏床Ⅱ仮に月5万円の家賃で5社入居すると25万円が指定管理者の収入になるのか。町は指定管理者の収入となっても管理費を支払うのか。収入は何に使用するのか、検討しておいていただきたい。

現在、油木協働支援センターの部会を中心に月1回午前中2時間の軽トラ朝市を開催している。

地元の方は、地元野菜の希望がある。月1回の軽トラ朝市では対応できない状況。町は、地域住民の課題をどの様に受け止めるのか。無人市場などの対応など考えては。

町長Ⅱ提案していただければ、どういう形で具現化していくか協働支援センターと協議しながら進めて行きたい。

## くるみ保育所指定管理者 募集要項について

柏床II指定管理業務にかかる経費の、指定管理基準額、5800万円の算定根拠は。

町長IIくるみ保育所指定管理について、指定管理者募集要項についての質問のうち、指定管理基準額5800万円の算定根拠についての質問ですが、内閣府が定めております「子ども・子育て支援新制度」における保育所の公定価格にかかる概算総額の試算額に、燃料等の物価高騰対策として、令和4年度くるみ保育所運営における決算状況を加味した金額として定めている。

特に、くるみ保育所については、建物の構造上、床暖房などに電気を利用することから、子どもの保育環境に配慮している。

また、油木保育所及びよまつ保育所における指定管理委託料の額とのバランス、直営としてのくるみ保

育所単体での令和4年度決算総額の状況も参考として決定したものの。

柏床II募集要項「8応募条件」のうち、「(2)現在町立保育所に在職している会計年度任用職員(臨時職員)について、児童の保育環境激変緩和のため、使用者相互の協議に基づき、あるいは在職者本人の意思等に基づき継続雇用等の一定の配慮がなされること」とあるが、令和6年度からも、本人が引き続き町の会計年度任用職員としての勤務を希望した場合の対応は。

町長II指定管理者制度の導入にあたっての会計年度任用職員の雇用については、くるみ保育所という現在の職場が無くなりしますので、勤務いただいています会計年度任用職員の雇用更新はしない。

今後については、残る2所における必要職種について、それぞれ必要人数を新たに募集する。できるだけ早期に募集を開始したい。

また、指定管理の募集要項でも条件としておりますが、指定管理者においても、会計年度任用職員雇用のための職員募集が行われるものと想定される。

引き続き、町の会計年度任用職員として勤務を希望した場合については、今後募集を行う役場全体での他職種業務も含めて、こばだけ保育所、いずれ保育所の募集職種や人数等確認いただき、個々それぞれ判断、申請いただくこととなる。

なお、指定管理者の雇用については、指定管理者の議決をいただいた後、できるだけ早期に説明を行う予定としている。

柏床IIまた、「(6)その他イ 指定管理者として決定後及び指定管理開始後、町と協力しながら、保護者等に対して、運営内容等についての説明及び意見交換に努めること」とあるが、町の具体的な考え方、保護者の開催回数など、現段階での考え方は。

町長II保護者の皆様への説明会や意見交換についての考え方は、まずは、指定管理者の議決をいただいた後、早期に保護者の皆様へ紹介を含めて開催したいと考えている。

第1回目の説明会で、まずは丁寧な説明を行い、その後、不明な点については、随時対応していく。



来年4月から、社会福祉法人東城有栖会による運営が決まった、くるみ保育所

また、開催回数などについては、説明すべき内容や案件により、必要な時期に必要な回数を、町も連携して実施する。

当然、保護者の皆様からご要望があれば、対応する。

いずれにしても、指定管理者との調整や協議が必要でありますので、指定管理者が決定され次第、しっかりと連携しながら取り組みを進めていく。



## 詐欺防止・注目事業

9月補正予算で、特殊詐欺防止対策電話機の購入費用の一部を補助する予算が決まりました。

電話でかかってくる、特殊詐欺や悪質な電話勧誘を防ぐため、特殊詐欺などを防止する機能がある電話機の購入費用の2分の1（上限1万円）を補助します。町内のお店での購入が補助対象です。  
問合せは、未来創造課まで  
89-3332

## 神石郡畜産共進会

9月1日に、神石高原町・旧油木家畜市場で、4年ぶりに畜産共進会が開催されました。第1区(子牛の部)には、17頭の出品、第2区(成牛の部)に14頭の出品の31頭と、参考出品1頭があり、審査の結果、第1区(子牛の部)は、神石地区合同会社神龍ファーム出品

の「ひなた」が、第2区(成牛の部)は、豊松地区井上千歳さん出品の「なるこゆりひめ」が最優秀賞を受章されました。



子牛の部 最優秀賞の「ひなた」

## 神祇の由来

油木町亀鶴八幡神社祭典に古くから伝わっている神祇について、その起源を詳しくにすることは極めて困難なこと、今日文献で現存しているものは、第一〇三代後土御門天皇起源二一三〇年(今から四百九十二年

前)文明元年神道行司帳に記録せられているものと

(赤木太市氏所蔵)、第一一三代東山天皇起源二三四八年(今から二七〇年前)元禄二年八幡宮諸道具覚帳の中に、シャグマ二箇、獅子頭二頭、獅子の尾二つ、獅子櫃一つを奉納したことが明らかにされている記録(油木八幡神社所蔵)から考察して見ても相当古い起源のものであることが推測されます。この神祇の中に、古い楽と舞踊と、後になって、追加した楽と舞踊との二種があります。

楽譜は、言い伝えによって次から次へと伝えられ、舞踊の技術は、そのままが業になって伝えられ今日になって居るものであります。昭和三十四年十月、県の無形文化財選定を申請、翌昭和三十五年三月十五日付、広教委第二六号により、申請した油木神祇を広島県文化財保護条例第十六条の規定に基づき無形文化財として選定するとの通牒に接し、

ここにまさに選定された訳であります。

(出典・東油木に存在する祭りの口唱語帳から転記)



(10月9日鶴山吉備津神社)



## 【9月議会を終えて】

今定例会は、2022年度(令和4年度)の各種会計決算審議があり、一般会計、特別会計、病院事業会計の全会計が決算認定となりました。今議会では、くるみ保育所を指定管理者制度で社会福祉法人東城有栖会が2024年(R5)4月から2028年(R11)3月末までの5年間民間で運営することが決まりました。

6月と9月議会の一般質問で指定管理での運営について質しましたが、町の姿勢は変わることはありませんでした。来年度は5800万円での運営予定ですが、行政の場合、組織の運営費はかかりません。

わが町の子育ては十分なのか。保育所は、人への投資の現場ではないのか。

保育所の主役は、子どもである。指定管理者の方には、きめ細かな保育をお願いしたい。